

投手についてルール〔審判部〕

近年各リーグの選手が減少傾向にあるため通常のリトルリーグ形式の大会とインターミディエット形式の大会の両方に参加するチームが増えてきました。

ご存知のようにこの二つの形式における投手に関するルールは大きな隔たりがあります。

走者のリードが無いリトルリーグ形式の野球を行う時点で正しい投手の投球に関するルールを理解しないとインターミディエット形式の試合ではボークを多発する恐れがあります。

それにはマイナーの時点から指導者の方に正しいルールや投球フォームを教えて頂くことが最良の方法です。

将来も野球を続けていく上で最初に正しいルールを指導して頂きたいと思います。

投手について

- ① 大事なことは自然な投球フォームを習得することです。
変則的なフォームは打者のタイミングを狂わす意図があると判断される恐れがあります。また、不自然な動作や紛らわしい動きをすると不正投球（ボーク）と判定されることがあります。
公式戦の試合中にフォームを注意されたり不正投球と判定され、投球リズムが狂う事の無いよう事前に正しい投球フォームを指導して下さい。
なお、自リーグの投手のフォームが問題ないかなどを確認したい場合は審判部に問いあわせてください。
- ② ボールを受け取ったら直ちに投手板を踏んで投球位置につくこと。
（投球を受けた捕手は速やかに投手に返球すること）
- ③ 投手と野手の違い。
 - ・ 投手板に投手の軸足が触れたら野手ではなくなり投手のルールが適用される。
 - ・ 投手板を外すときは軸足から外す。⇒野手のルールが適用される。
- ④ 投手にできること。（軸足で投手板を踏んでいる状態）
 - ・ 打者に投球しても良い。
 - ・ 走者をアウトにしようとして壘に送球しても良い。
 - ・ 投手板を外しても良い。⇒軸足から外し両手を身体の側面に付ける。
- ⑤ 投手の禁止事項
 - ・ 打者への投球に関連する動作を起こしたならば、途中で止めたり、変更したりしないで、その投球を完了しなければなりません。
 - ・ 具体的な例
⇒リトルリーグでは二段モーションは不正投球（ボーク）になります。
（足を上下動させる。振りかぶった手を振る。）

注）2018年から「プロ野球等は二段モーションが解禁された」とマスコミ等で報じられておりますが、これは正確に言えば「解禁」した訳ではなく、二段モーションで投球しても罰則を科せられなくなったという事であり、我が国では過去に意図的に打者のタイミングを狂わせる目的でこういった投球をする投手がいたために日本独自に罰則を科していました。

今回は本来のルールに戻しただけのことで、依然として公認野球規則には「投球動作を起こしたならば、中断したり、変更したりしないでその投球を完了しなければならない。」と記されております。また、日本野球規則委員会の見解でも「技術面においても、マナー面においても“二段モーション”は望ましい投球動作ではない。」という表現をしております。

当然、走者がいるときに二段モーションを行うとボークが科せられます。

⇒足を後方に引きながら両手を胸部、腹部に持って行き一旦止めて、そこから頭上に振りかぶる。(腕の二段モーション)

⇒ボディスイング(振りかぶった時、腰を前後に複数回揺らす。)

⇒投球動作の停止(手が動いていても足が止まるのは禁止。)

⇒投球時手とグラブでポンと叩く。

⇒投手板の軸足を投手板上で必要以上にスライドする。

⇒サインの二度見は禁止。(一旦上体を起こしてまた戻す。)

⇒セットポジションでのコンプリートストップ(リトルは注意で罰則なし)

・投球等に関係のない動作をする。

⇒投手板を踏みながら、後ろを向いて野手にアウトカウントなどを言う。

⇒投手板を踏みながら、ジャンプする。

⇒投手板を踏みながら、帽子に触る。

⇒投手板を踏みながら、汗を拭く。

⇒投手板を踏みながら、腕を振り回したりブラブラさせる。

・違反ではない場合

⇒手を離れたボールがファウルラインを通過しなかった場合。

(無走者の場合のみノーカウントでやり直し、走者がいればボーク)

・補足

⇒捕手は投球の捕球時にミットを動かさないように指導して下さい。

⇒捕手は立ってサインを交換しないように指導して下さい。

⇒捕手は投手に返球する際、本塁より手前で投げるよう指導して下さい。

⑥ 選手、指導者、審判員は互いにリスペクト(尊敬)し合って試合を行いたいと思います。

コーチボックスに入った指導者、選手または塁上の走者の紛らわしい言動には嚴重注意や厳しい罰則を科すことがあります。また、言い返すことのできない選手に対し威嚇ともとれるような言動も同様です。

そのような言動を審判員から注意されても再度繰り返した場合は監督が退場処分となります。さらに審判員が明らかに不審な言動の後に安打等が発生したと判断した場合は即時監督を退場させるもあり得ます。

また、プレイとその判定に関する規則的な問題の説明が必要な場合は当該審判員に確認して下さい。審判員には丁寧に説明するよう指示しております。しかし、一旦確認が終わったら審判員の指示に従って下さい。

よろしく願いいたします。

以上